

学校経営の基調

校長 東海林 俊介

1 はじめに

本校は、開校より78年の歴史・伝統を有し、17年前に全国初の中・高連携校として新たなスタートをきった学校である。キャリア教育、三道教育(書道・茶道・剣道)の特色ある教育の実践で、生徒の豊かな人間性(成長の保障)、確かな学力の定着(学力の保障)に努めつつ、中高連携校として異校種間の生徒の交流による心の成長やさまざまな地域貢献活動を展開してきている。

今年度も校訓である「自主」「敬愛」を根底に据え、また中高連携校としての共通理念である「立・錬・情」を念頭におきながら、全職員で学校教育目標の達成に向けて進んでいく。

2 矢島小・中・高連携と昨今の現状

平成21年に矢島中高連携がスタートして16年目を迎える。校舎一体型の連携校として、相互の授業乗り入れによる教科免許外担当者の解消、施設の共用、授業研究会への相互参加、合同部活動、避難訓練や講演会などの行事、高校生による学習サポートなど、連携による特色ある教育活動が実践されている。ここ数年は、中高共に地域貢献ボランティアにも積極的に取り組み、地域行事の一翼を担ってきているが、近年、中高それぞれの生徒数減少に伴う課題が生じ、連携校としての取り組みに対する検討を進めている。また、昨度からは、矢島小学校も隣接され、小中高の連携の在り方についても、地域との関わりを主体として考えている最中である。

中学校としても、全校生徒数が100人を割り、各学年1クラスの全校で3クラスという最小規模の学校となった。こうした状況に対し、本校では「全校縦割り活動」を導入し、異学年交流のもたらす教育的効果を願いながら、少人数に対する教育課題の克服を図っている。

3 小・中・高を貫く共通理念と課題

矢島地区の学校は、以前からひとつの町に一小一中の環境であり、小中一貫した教育理念が受け継がれてきた。

「町づくりは人づくりなり、人づくりは教育なり」の文言は、今でも語られる教育熱心な町でもある。

17年前の中高連携校スタートにあたっての共通理念設定も、そうした歴史や伝統を受け継いだものと思われる。

また、保育園・小学校・中学校・高校の全職員で組織する「矢島教育研究会」での実践や意見交換をもとに、一貫した学習指導や生徒指導、キャリア教育等が展開され、生徒一人一人の成長に大きな成果をあげている。

--- 矢島中高連携共通理念【立・錬・情】 ---

【立】… 高い志を持ち 自立を目指す

【錬】… 自身を鍛え 粘り強い心を育てる

【情】… 助け合い・支え合う優しい心を育てる

--- 矢島中学校目指す生徒像 ---

① 主体的に学び、集中して考える生徒 **【立】**

② 鍛え合い、たくましく生きる生徒 **【錬】**

③ 心豊かで礼節を重んずる生徒 **【情】**

--- 矢島小学校【や・し・ま】 ---

【や】… やさしい子

【し】… しんぼう強い子

【ま】… すすんでまなぶ子

4 校 訓 「自主」 「敬愛」

5 教育目標 「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

6 基本方針

＜保護者・地域と共に 生徒の願いをかなえる 学校づくり＞	
(1) 生徒を主体とした経営の推進	子どもへの寄り添いを原点に、生徒の主体性を育む学校経営を推進する。 「成長の保障」と「学力の保障」を質的に高めながら、すべての生徒にとって楽しく安全に生活できる場である学校・学級づくりに努め、生徒個々が主体的に自己を表現し、粘り強く物事に取り組もうとする生徒の育成を目指した学校づくりを推進する。
(2) 保護者・家庭との連携を深め、共に歩む学校づくりの推進	学校の取組や考え方を積極的に公開し保護者や家庭の声も活かした学校経営に努める。また、情報提供や共有を適宜に図り、よりよい相互関係を築きながら、学校への信頼の質を高めていく。学校と保護者・家庭との関係においては、「寄り添った丁寧な関わり」を推進する。
(3) 地域の特性を生かした活動の推進	ふるさと教育の趣旨に沿い、CSとしての取組を推進しながら、地域活性化の核となる学校づくりを目指す。学校と地域相互連携による地域への貢献活動を幅広く展開し、生徒と地域の方々との交流など地域を活性化させる活動を通して、豊かな心の育成とふるさと愛に満ちた次代を担う人材づくりに努める。また、地域の人材や環境を積極的に活用し、地域に根ざした教育を進める。

7 目指す姿

(1) 目指す生徒像

- ① 主体的に学び、集中して考える生徒 **【立】**
～夢や目標をもち、自分の考えや思いを表現できる矢中生～
- ② 鍛え合い、たくましく生きる生徒 **【錬】**
～積極的に活動し、協力しながら粘り強く取り組む矢中生～
- ③ 心豊かで礼節を重んずる生徒 **【情】**
～明るくさわやかなあいさつを交わし、思いやりとやさしさをもって行動する矢中生～

(2) 目指す学校像

- ① 学ぶ意欲や分かる喜びにあふれた、学力が身に付く学校
- ② 互いに認め合い、共に高まり合う活力に満ちた学校
- ③ 礼節を重んじ、明るいあいさつが広がる温かい学校

(3) 目指す教師像

- ① 生徒に寄り添い、共に歩みながら自己の指導力を高める教師
- ② 同僚性を育みながら学校経営に参画する教師
- ③ 生徒一人一人を愛し、生徒や家庭、地域から信頼される教師

8 目指す生徒像の具現

(1) 「主体的に学び、集中して考える生徒」を育成するために

- ・課題に対して自分の意見や考えをもつことができる。
- ・授業で積極的に発表したり、話し合いに参加したりできる。
- ・他人にたよらず、自ら課題解決に当たることができる。
- ・学び合いを通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・学習したことから新たな疑問を見出したり、学習したことを生活と関連付けて考えたり、生活に生かしたりすることができる。
- ・テストに向けての学習や長期休業の学習を計画的に進めることができる。
- ・検定等に積極的に挑戦することができる。

(2) 「鍛え合い、たくましく生きる生徒」を育成するために

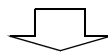
- ・学習において、課題や問題にあきらめずに粘り強く取り組むことができる。
- ・よりよい生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を送ることができる。
- ・係活動や当番活動を責任をもってやり遂げることができる。
- ・授業や全校剣道などを通して、お互いを高め合おうとする気持ちをもつことができる。
- ・自分や他人のよさを認めることができる。
- ・ボランティア活動などで主体的な行動ができる。
- ・部活動で、チームメートと協力しながら自分を高めるために練習に励むことができる。
- ・自分の夢や目標に向かって根気強く取り組むことができる。
- ・苦手なことも克服に向けて努力することができる。

(3) 「心豊かで礼節を重んずる生徒」を育成するために

- ・誰にでも明るくさわやかなあいさつをすることができる。
- ・相手の立場に立って考え、発言や行動をすることができる。
- ・他の人に対して感謝の気持ちをもつことができる。
- ・日々の清掃活動を心を込めて行うことができる。
- ・三道教育（書道・茶道・剣道）などを通して、正しい礼節や相手を敬う気持ちを身に付けることができる。
- ・ボランティア活動などで、奉仕の精神を身に付け、地域に貢献することができる。

9 経営の重点実践事項

保護者・地域と共に 生徒の願いをかなえる 学校づくり



—— 学校教育目標 ——

主体的に学び 心豊かにたくましく生きる 生徒の育成

重点実践事項

(1) 【学力の保障】確かな学力の育成

- ・主体的に活動するための導入の工夫
- ・主体的な学びのコーディネート
- ・基礎学力の定着につながる評価の工夫

(2) 【成長の保障】豊かな人間性と、たくましく生きる心と体の育成

- ・三道教育や各種活動を通じた主体的活動の推進（自己肯定感の育成）
- ・縦割り活動導入による自己有用感の育成
- ・地域の特性を生かしたキャリア教育の推進
- ・体育的活動や部活動等を通じた体力の増進と望ましい生活習慣の形成

(3) 【礼儀・礼節の充実と地域連携】家庭、地域、他校種との連携をふまえた学校経営

- ・三道教育（書道・茶道・剣道）の推進
- ・PTA、諸行事、学校開放日等を活用した連携の推進
- ・コミュニティスクールや学校評価、保護者アンケート等を活用した経営改善
- ・中高連携のメリットを活かした実践